

いのちの授業 児童（5年生）の感想

【5年生】

- ・ この勉強で、いろいろな人が命をととても大切に生きていくことを知ることができた。これからは、命を大切に生きていきたいととても思いました。
- ・ 今日命について勉強して、ぼくらは生きていくだけで奇跡だということがわかった。だからぼくは生きられるだけ生きる、でもつらいときもあるけどその時は自分のことをはげます。
- ・ 人のいのちの大切さ。体が不自由でも、必死に生きている人がいる事をして、人はどんなこんながあっても前を向いていることがわかりました。
- ・ いのちは、びょうきやがんで命をおとす人が多いのかなと思った。人はかならず命をおとすことはしっていたけど、知らないこともあったからとても勉強になった。
- ・ いのちとは、生きるとは、死ぬとはどんなことで、どのようなのかよくわかった。これからは自分の生きている意味を考えるのではなく、自分らしく生きていけるようにしたいと思った。
- ・ いのちの授業を受けて、今生きていることがすごいと思った。たまに「人ってなんだろう。うちゅうってなんだろう」と自分かアニメのキャラになってだれかにみられてるかんかくがするから、すこしわかってよかった。
- ・ 命の授業を受けて、これからも、命を大切に生活しようと思った。命について、もう一度考えるきっかけになったので良かった。
- ・ 今まで、みんな病気だけで苦しんでいると思っていたけど、社会的な痛みもあってびっくりした。高宮さんは、病気だけでなくその人の人生も大切にされていて、いろいろ考えているんだなと思った。
- ・ いのちの授業を受けて、命は大切にしないとダメなんだなと思ったり、命を大切に生きていこうと思った。
- ・ いのちの使い方は人それぞれだけど、自分の役わりを果たしたいと思った。自分の役わりはまだ見つけていないけど、これから見つけてしっかり果たせるようにしたいです。そして、いのちを無駄にしないようにしたいです。
- ・ 改めて、人のいのちは大切だということがわかった。緩和ケアという言葉の意味や、リラックスする呼吸法もわかったし。自分の当たり前のことが、当たり前ではない人もいることもわかった。だから自分のいのちを大切にしていこうと思う。
- ・ いのちのことで、たくさん知らないことをこの授業でわかりました。病気でなくなった人の思い、その医者さんの思いなどが伝わってきました。病気でもその人のいきかたがわかりました。
- ・ がんで死んでしまう人がいたので、がんに気を付けます。手足がない人が、他の人を見て自殺しないでいっしょうけんめい生きていて、いのちの大切さを知っていて、わたしはすばらしい人だと思いました。
- ・ この授業で命の大切さや死の怖さ、逆に死の考え方や生き方などいろいろ自分がどんな思いで過ごせばいいかなどよくわかりました。象の動画でとても感動し、涙が少し出てしまいました。私は保育園の時に、大好きだった同じクラスの女の子の友達をなくしました。交通事故でなくなりました。まだ小さかった私は、感情がごちゃ混ぜになりました。絶対に忘れることができない事です。これからも、まだ生きている命を大切に生きていきたいです。